

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 31 日
研究・研修課題名	認定病理検査技師資格取得
研究・研修組織名(所属)	病理部
研究・研修責任者名(所属)	上垣 真由子(病理部)
研究・研修実施者名(所属)	上垣 真由子(病理部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	上垣 真由子(病理部)
学会名(会期・場所)、認定名等	認定病理検査技師
演題名・認証交付元等	日本臨床衛生検査技師会
取得日・認定期間等	2022 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日(5 年間)
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

昨今、病理診断分野において、精度管理がこれまで以上に高い水準で求められるようになった。これには、いわゆるコンパニオン診断に加え、近年急速に広まった遺伝子検査・がんゲノム医療が大きく影響している。

現在、当院はがんゲノム医療連携病院に指定されており、県内のがんゲノム医療の中心的役割を果たす責務がある。連携病院や上位の中核拠点病院・拠点病院の指定要件にも「病理検体の取扱いに関する高い専門性を有する常勤の臨床検査技師が 1 名以上配置されていること」との記載があり、これは本申請で取得を目指す「認定病理検査技師」が想定されている。

このような背景により、「認定病理検査技師」資格取得を目指す。

② 方法

日本臨床衛生検査技師会が指定する、「認定病理検査技師」受検資格は以下の通り。

1. 日本臨床衛生検査技師会の会員であり、臨床検査技師国家資格を有する者。
2. 日臨技生涯教育研修制度修了者。
3. 第 6 回・第 7 回認定病理検査技師制度指定講習会を受講した者。
4. 日本病理学会会員の医師または施設長の推薦を受け、推薦書を有する者。
5. 病理検査業務に 5 年以上従事している者。

これらの条件を満たすため、第 7 回認定病理検査技師制度指定講習会を受講した。指定講習会は、本来は東京にて 2 日間に渡って講義を受講する形式だが、COVID-19 の影響でオンデマンド形式となった。

以上で、受検資格を全て満たしたため、2021 年 12 月 5 日幕張メッセ(千葉県)にて集合形式で行われた、「認定病理検査技師制度 第 7 回認定試験」を受検した。

③ 成果

認定試験には合格し、認定病理検査技師資格を取得できた。認定登録も完了し、認定期間は 2022 年度から 5 年間である。

試験に先立って受講した「指定講習会」では、実際の検体の取り扱いなど日常業務に直結する内容

(様式1)

から、インシデントやトラブルへの対応、保険点数の内容など、病理検査部門の管理者としての資質が問われるような内容も多く、大変有意義であった。この講習会で得られた知識は、すでに日常業務にて大いに活かされていると感じる。

認定試験は、マークシート 60 問に加えて、記述や小論文などボリュームのある試験であったが、現実に近い設定でのトラブル対応に関する小論文であり、指定講習会から学んだ知識を生かすことが出来た。

島根県内での同資格取得者は、自身で 3 人目である。これは他県と比較して極端に少ないため、今後は県内で資格取得を推進し、同時に院内での業務に活かしていきたい。